

台湾高速鉄路 プレキャストスパン工法による一括架設



↑プレキャスト桁を積載したラウチングキャリアが現場に到着し、後方駆動部にてサポートビーム上に押し出された状態



↑↓サポートビームが前方に押し出され、ラウチングキャリアで運ばれてきたプレキャスト桁が降ろされる



↑プレキャスト桁の据付終了

橋梁特集

世界で初めて橋梁の送出し架設にエーキャスターを利用 第二東名高速道路 駒瀬川橋



↖走行床面部の送出し桁の地組立て工事



↖走行床面上へのエーキャスター配置



橋台・橋脚上の送出し駆動装置⇒

ジャッキ付き駆動装置で桁を持ち上げ、
スクリューシャフトの回転により
ジャッキ部が約1m移動

↖エアー注入によりトーラスバッグは膨張し桁が徐々に浮上
さらにエアーを注入するとトーラスバッグと走行床面との間に薄い空気膜(0.08
~0.13mm)が形成され、この状態で駆動装置を作動させて桁を移動

